

# 令和元年度 第3回スポーツ推進審議会

日時：令和元年12月19日（木）13時30分～

場所：荘島体育館会議室

## 1 会長あいさつ

## 2 議 事

(1) スポーツ推進計画策定にかかる関係団体からの意見集約について

(2) 次期計画の基本方針・施策の方向性について

(3) 次期計画の具体的施策について

## 3 その他

## スポーツ推進計画策定にかかる関係団体からの意見集約

### 1. 目的

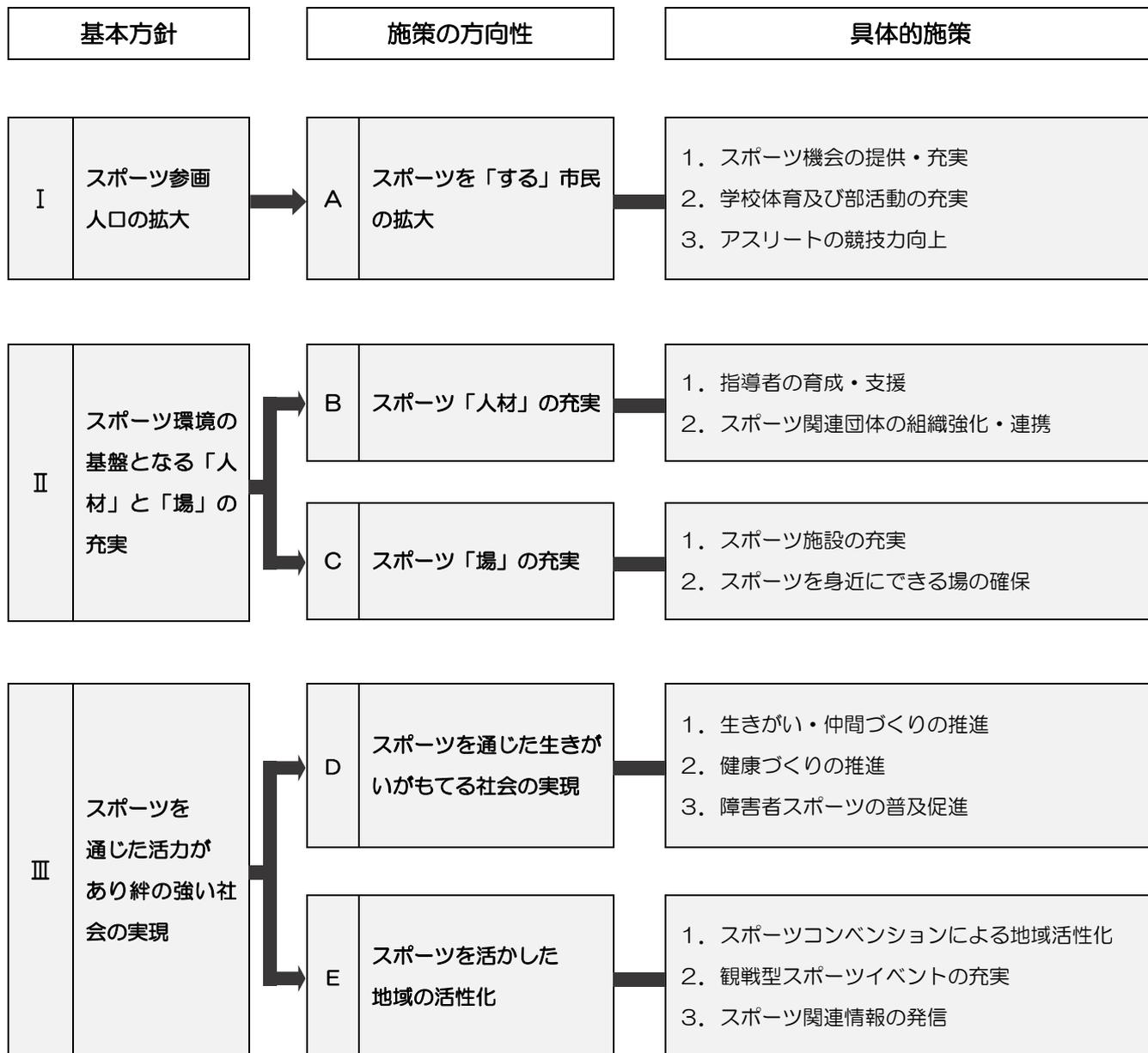
スポーツの関係団体に対し、本市の課題等についてのご意見を集約し、令和2年度からの新スポーツ推進計画策定のための情報収集として行う。

### 2. 意見集約の対象団体

- ①（公財）久留米市体育協会    ②久留米市スポーツ推進委員連絡協議会
- ③久留米市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会    ④各指定管理者
- ⑤福岡県障がい者スポーツ協会

分類	Ⅰ 市のスポーツ推進を図るうえでの課題についての意見	Ⅱ 市が今後強化すべきスポーツ施策についての意見
する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもたちが遊びやスポーツに触れる機会が少ない。</li> <li>○仕事で一番忙しい世代（20～50代）の運動実施率が低い。</li> <li>○障害者と健常者が、一緒にスポーツ活動をする機会が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○参加しやすい初心者向けスポーツ教室の実施。</li> <li>○若い世代の運動機会の増進。 （親子でのスポーツ教室の開催など）</li> <li>○高齢者へのスポーツ機会の提供。</li> <li>○障害者スポーツに対する啓発。</li> <li>○障害者がスポーツや運動に関われる環境整備。</li> </ul>
みる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大規模大会やイベント、スポーツ施設等の市民へのPR不足。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プロなどの高いレベルの試合観戦機会の提供。</li> <li>○広報の充実。（SNSを活用し、イベントや運動・スポーツ等の情報を紹介する）</li> </ul>
ささえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平日午前中の各スポーツ施設の利用が少ない。</li> <li>○土日はスポーツ大会が多く、一般の利用者の利用ができない。</li> <li>○施設の設備。（特に冷暖房がない施設は利用を避けられることがある。）</li> <li>○施設管理者が障害者スポーツに関する知識・理解が不足。</li> <li>○各競技団体や部活動指導者不足。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○土日のスポーツ大会等での利用を制限し、市民がより利用しやすくする。</li> <li>○施設の修繕等の老朽化対応。</li> <li>○車いす用トイレ等バリアフリーの整備。</li> <li>○施設の管理者が障害者スポーツに関する知識を増やし理解を深める。</li> <li>○指導者向けトレーニング法などの講習会の開催。</li> <li>○スポーツボランティアが活躍できる仕組み作り。</li> <li>○障害者スポーツの指導員を増やす。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○障害者スポーツの関係する部所間など行政間の連携が不足。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行政間等の各部所間での連携を強化。</li> <li>○東京オリ・パラを契機としたスポーツの推進。</li> </ul>

次期計画の基本方針・施策の方向性・具体的施策



久留米市スポーツ推進計画策定スケジュール(案)

年	月	体スポ(事務局)	審議会	市議会・教育委員会
令和元年	1	くるモニアンケート		
	2			
	3			
	4	新計画(案)作成		
	6	市民意識調査		
	7	【審議会委員変更】(市議)		教民(所管事務調査)
	8			
	9			
	10 4日	諮問(教育長→審議会)  審議会意見集約・修正	【第一回】 ①現計画の総括 ②諮問 ③次期計画 ④意見聴取	
	10 30日	審議会意見集約・修正	【第二回】 ①地方公共団体の役割 ②市民意識調査からの現状 ③次期計画の骨子 ④意見聴取	
11	関係団からの意見集約			
12 19日		【第三回】 ①関係団体からの意見集約 ②次期計画の基本方針等 ③次期計画の具体的施策		
令和2年	1	【審議会委員改選】  パブリックコメント	【第四回】 ①計画(案)確定 ②意見聴取	教民・教育委員会 計画(案)の提案
	2			
	3	答申(審議会→教育長)	【第五回】①計画(案)確定	教民・教育委員会 計画答申案の議案提出 パブコメ報告

## スポーツ推進に向けた政策の取り組み

### I. スポーツ参画人口の拡大

市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む基盤として、誰もがライフステージや関心、適正等に応じて日常的にスポーツに親しむ機会の充実を図るとともに、スポーツ活動の振興とその環境整備に取り組みます。

#### 施策の方向性

A：スポーツを「する」市民の拡大

##### 【目標】

- ◆成人の3人に2人（65%程度）は、週1回以上スポーツを行っている。  
※H30実績 52.3%
- ◆学校体育における体力・運動能力調査（小5・中2）において全種目で全国平均を上回る。  
※H30実績 種目により全国平均を下回っている種目がある。

##### 【具体的施策】

#### 1、スポーツ機会の提供・充実

##### 12-1 スポーツ初心者に向けた機会の確保

年齢、性別や障害の有無に関わらず、全世代を通じスポーツを始める入り口として、遊びながら、楽しみながら、スポーツ・運動ができる機会の確保に取り組みます。

##### 17 市民参加型スポーツイベントの充実

「いつでも」「どこでも」「だれでも」がスポーツを楽しめるよう、各地域やスポーツ推進委員、各種スポーツ団体との連携を図り、身近で手軽に参加できるイベントを充実します。

##### 18 地域におけるスポーツ講座・イベントの充実

各地域や校区単位で行うスポーツ講座やイベントについて、スポーツ推進委員や総合型クラブとの協働により充実します。

## 12-2 仕事や子育てで忙しい世代のスポーツ機会の充実

20代から50代までの仕事や家事、子育て等で忙しい世代の運動機会の充実を図ります。また託児サービスの提供など、育児中の人も参加しやすい仕組みを整えます。

## 13 子どもがスポーツに親しむ機会の提供

子どもにスポーツの楽しさを知ってもらうため、子ども向けの教室や親子で参加できるイベント等を開催し、スポーツに親しむきっかけとなる事業を実施します。

## 2、学校体育及び部活動の充実

### 49 体力・運動能力調査の活用と体力向上施策の展開

体力・運動能力調査の結果をもとに、各学校の特色を生かしたスポーツ的行事及び日常的な「1校1取組」運動の工夫、外遊びの推奨など、子どもの体力向上のための施策を展開します。

### 46 学校体育及び部活動への連携した外部指導者の活用

より充実した実践的な体育授業の実施のため、また部活動の活性化や生徒の技術向上のため、総合型地域スポーツクラブや地域のスポーツ指導者と連携により外部指導者を活用します。

### 52 部活動実態調査と取り組みの充実

部活動の実態調査を行うとともに、実態を踏まえ、久留米市部活動方針に基づき、部活動の充実・改善に取り組めます。

## 3、アスリートの競技力向上

### 40-1 ジュニアアスリートの競技力向上

オリンピック・パラリンピック等の大規模スポーツ大会での活躍が期待される本市ゆかりのジュニアアスリートに対し、国内外での試合や日々のトレーニングなどでの環境整備を図ることで、競技力向上が図れるよう支援します。

### 41 競技大会出場選手への支援

全国大会や九州大会に出場する選手に対して出場奨励金を支給するとともに、市民に夢や感動を与える顕著な成績を収めた選手を表彰し、積極的なPRを行います。

4 0 中・高体連専門部、競技団体との連携強化

中体連・高体連と各競技団体との連携を強め、一体的なタレント発掘を行うとともに、必要に応じて県等の機関につないでいきます。

4 2 スポーツ医科学を活用した競技者の支援

大学等との連携により、スポーツ医科学を活用した競技者への支援ができるようなシステムの構築を目指します。

## Ⅱ. スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実

スポーツに関わる指導者、審判員、ボランティアなど、スポーツ活動を支える人材の育成を図るとともに、多様なスポーツ施設の有効活用、安全対策等を行うなど、多様な人材の育成と施設整備を行いスポーツ環境の充実を図ります。

### 施策の方向性

B：スポーツ「人材」の充実

#### 【目標】

- ◆スポーツ指導者養成のための講習会・研修会の受講者が毎年400人以上。  
※H30実績 364名

#### 【具体的施策】

##### 1、指導者の育成・支援

##### 5.5 各種スポーツ講習等の情報提供

(公財)日本スポーツ協会や各種競技団体等が開催する講習会・研修会等に関する各種情報の提供を行い、それらへの自発的参加や派遣を促進します。

##### 56-1 運動・スポーツ指導者養成のための講習会開催

各種資格制度との整合性を踏まえた指導者養成講習会・研修会の開催や、各競技団体等が行う自主研修活動の支援を行います。

##### 56-3 スポーツ推進委員への研修

スポーツ推進委員を対象とした研修会を開催し、地域に貢献できるよう知識や技術の習得を促進し、地域スポーツの振興を支える人材の資質向上に取り組みます。

##### 5.8 保育園・幼稚園等職員の運動遊びに対する啓発

生涯の健康・体力等について、幼児期の運動遊び体験の有効性を保育士等に認識してもらうため、講習会等を開催するなど、幼児期からの運動指導の強化を行います。

## 5 9 指導者やボランティアの人材育成と活用推進

公益財団法人久留米市体育協会や各競技団体等との連携により、指導者やボランティアの人材育成に取り組みます。

また、スポーツの素晴らしさに触れる機会、自己実現や社会貢献活動の機会としてもらうため、運営ボランティアの活用を推進します。

## 59-1 地域スポーツ推進者への表彰

各競技団体やスポーツ推進委員など、スポーツ分野における活動を行う団体・個人が、長年の活動により地域スポーツの推進などに貢献している方々を表彰します。

## 2、スポーツ関連団体の組織強化・連携

### 5 市体育協会の組織・事業内容の充実

協会の安定的な運営基盤の強化を図るとともに、公益財団法人として、公益的な事業に一層力を入れます。また、協会加盟の競技団体や行政、その他の関係機関と連携し、事業内容を充実に取り組みます。

### 2 8 総合型地域スポーツクラブ（以下「総合型クラブ」という。）の連携・活動支援

県と連携し総合型クラブ相互の連携や情報交換を促進するため、「久留米市総合型クラブ連絡協議会」の活性化と支援に取り組むとともに、連絡協議会の人的・物的資源やノウハウを積極的に活用し、市全域にまたがる事業を展開します。

### 2 9 総合型クラブの活動支援体制の充実

総合型クラブが持続的に地域スポーツの担い手としての役割を果たしていくため、計画的に事業を実施し、改善することにより運営の安定化を図るとともに、地域に根ざしたクラブとして定着していくために、総合型クラブによる、生きがい・仲間づくりなど、地域の課題解決に向けた取り組みを支援します。

### 6 0 学術機関や関係団体との連携

市民が生涯にわたってスポーツを楽しめる事業からトップアスリートの競技力向上に係る事業まで、大学等と連携したスポーツ医科学を活用した高度で専門的観点からの支援とその成果の有効活用を図る取り組みを目指します。

### 56-2 クリーンでフェアなスポーツの推進

スポーツ関連団体と連携を取りながら、各競技団体等に対し、法令遵守違反や体罰、暴力等の根絶を目指すため、組織の運営や指導方法等についての啓発を推進します。

## 施策の方向性

---

C：スポーツ「場」の充実

### 【目標】

◆スポーツ施設の利用者数が、年間 2,000,000 人以上。

※H30実績 1,580,932 人

◆学校施設開放事業利用者数が、年間 800,000 人以上。

※H30実績 771,660 人

### 1、スポーツ施設の充実

#### 3 2 身近なスポーツ施設としての機能充実

地域における身近なスポーツ施設として魅力ある施設となるよう、地域スポーツ活動に必要な備品の整備や消耗品の購入等、施設の機能充実を図ります。

#### 3 9 安全で安心できる施設の維持管理

だれもが安全で安心にスポーツに親しめるよう、老朽化した施設の改修を図るなど適切な維持管理を行い、施設の利用促進を図ります。

### 1、スポーツを身近にできる場の確保

#### 3 0 スポーツ施設の活用促進

市民のスポーツ活動の場となりえる公立学校体育施設の開放を推進するとともに、公共スポーツ施設においても、各種スポーツ教室などでの有効活用を促進します。

また、市民に対しスポーツ施設の活用促進に向けた周知にも取り組みます。

#### 16-4 スポーツ施設の利用促進

「障害者差別解消法」の趣旨を周知し、スポーツ施設の管理者等を含め、広く障害者スポーツへの理解を啓発し、障害のある人への不当な差別的取り扱いをしないことや合理的配慮の取り組みを要請することにより、障害のある人のスポーツ施設の利用を促進します。

### Ⅲ. スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現

障害の有無に関わらず、だれもがスポーツ活動やイベントを通じ、活力があり・絆が強く・生きがいの持てる社会の実現を目指すとともに、地域社会や地域経済の活性化を図るために、スポーツコンベンションの誘致に取り組みます。

#### 施策の方向性

D：スポーツを通じ、生きがいもてる社会の実現

##### 【目標】

- ◆パラリンピック種目体験会を年間2回以上開催する。  
※H30実績2回

#### 1、生きがい・仲間づくりの推進

##### 15 高齢者スポーツ事業の展開

高齢者の体力維持や健康増進を図るとともに、ライフスタイルに応じ、老人クラブ等の地域活動・スポーツ活動を支援し、生きがい・仲間づくりを推進するため、高齢者向けのスポーツの普及・促進に取り組みます。

##### 25 総合型地域スポーツクラブの普及・啓発

地域でのスポーツを通じた各種事業を行う総合型地域スポーツクラブの活動内容の充実を図るとともに、市民に対する普及・啓発に取り組みます。

##### 8 スポーツ少年団の充実

青少年のスポーツを振興し、心身の健全な育成を図ることで、体力や仲間との協調性などを身につけることを目的とするスポーツ少年団の活動の充実を図るため、少年団スポーツ大会や各種研修会を開催し、少年団の活性化や交流に取り組みます。

#### 2、健康づくりの推進

##### 20 健康づくりのための運動の推進

ウォーキング、ラジオ体操等、「いつでも・どこでも・だれでも」手軽にできる健康づくりの運動を地域との連携により推進します。

## 2 1 保健分野と連携した健康づくり

「健診受診率の向上対策」「身体活動・運動の普及推進」「食生活環境の整備」を3つの柱として、健康寿命の延伸を図ります。

## 3、障害者スポーツの普及促進

### 16-1 障害者スポーツに対する認知度及び理解度を深める

障害者スポーツに関わる機関やスポーツ団体等と連携を図り、障害者スポーツに対する認知度を高め、理解を深める活動を推進します。

### 16-3 パラリンピック競技大会の体験会の実施

障害者がスポーツに触れ合う機会の充実を図り、障害者のスポーツ参加人口を増やすため、パラリンピック競技大会での実施競技の体験会を実施します。

## 施策の方向性

---

### ◆スポーツを活かした地域の活性化

#### 【目標】

- ◆スポーツコンベンション経済波及効果 年間 500,000 千円以上。  
※H30実績 年間 473,496 千円。
- ◆大規模大会の開催件数 年間 5回以上。  
※H30実績 年間 4回

## 1、スポーツコンベンションによる地域活性化

### 4 5 スポーツコンベンション誘致による地域活性化

まちの賑わいと経済・地域の活性化を図るため、スポーツ関係団体や宿泊施設等と連携し、大規模スポーツ大会やプロの試合、キャンプ等の誘致に取り組みます。

## 東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機とした取り組み

ケニアとカザフスタン両国のキャンプを通じ、市民ボランティアなど人的なサポート体制や宿泊、食事、医療などの海外チームのキャンプ受け入れノウハウを蓄積するとともに、受け入れ環境を広くPRすることで、国内外からのキャンプや大規模スポーツ大会などの誘致に取り組みます。

### 2、観戦型スポーツイベントの充実

#### 2.2 観戦型スポーツイベントの充実

プロ野球をはじめ、バレーボール等プロスポーツの試合を誘致し、パブリックビューイングなどを含め、「みる」機会を提供するとともに、レベルの高いスポーツに触れる機会を創出します。

#### 2.4 プロスポーツチームを活用したイベントの実施

プロスポーツと身近に接し、スポーツに対する関心を醸成するため、選手等によるスポーツ教室や選手との交流イベントを開催します。

### 2、スポーツ関連情報の発信

#### 1.9 スポーツ関連情報の発信

市内のスポーツに関する大会やイベント等の情報を集約し、市民に向けた情報を発信することで、身近にスポーツをするきっかけづくりや利用する施設の紹介に取り組みます。

#### 4.7 学校ホームページによる体育情報の発信

学校ごとの体育に対する取り組みについて、ホームページ等を活用した情報発信を行います。